

あし風通信

ICC 5 号
学びのスタンプ通算 12 号



応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪

いしかり市民カレッジ “学ぶ側から教える側に”

あなたも「まちの先生」に

いしかり市民カレッジは、昨年度 13 講座 31 コマの主催講座が開講され、受講者数も 1,130 人にも達しました。2010 年度には、多くの市民の方の学ぶ意欲にこたえ 14 講座 46 コマの魅力ある内容で開講いたします。

2010 年度ではもう一つ新たな企画として、今まで学ぶことが主体の市民の方々が講師となる「まちの先生企画講座」を開講いたします。

この講座は、市民の方がお持ちの知識、経験、技術などを活かして自ら講座を企画・運営し、講師として市民の学びを支援するものです。講師と受講者の学びあいを大切にしたい、市民が主役の新しい生涯学習を目指します。

「まちの先生」は、居住地、年齢、指導経験などは問いません。講座の内容も、特定の政治、宗教あるいは営利目的以外であれば、何でも結構です。受講生との学びあいを大切に思う気持ちだけが条件です。

講座を開設するには、いしかり市民カレッジ運営委員会が開く「まちの先生・説明会」に参加し、2010 年度後期からの講座応募企画書を提出していただきます。その後、運営委員会と面談の上、講師として決定させていただきます。

まちの先生説明会は、第 1 回目を 3 月 25 日に開催し、5 人の方にご参加いただき、応募企画書も「減災と暮らし」「オカリナを楽しもう」「英語・同義語、カタカナ語そして語源」などが提出されました。



【 まちの先生説明会 】

日 時： 6 月 25 日 午後 3 時から

場 所： 公民館 第 1 研修室

問合せ： いしかり市民カレッジ運営委員会事務局（石狩市公民館内）
石狩市花川北 6 条 1 丁目 42 Tel : 0133 -74 -2249

運営委員会としては、2 回目の説明会を 6 月に開催いたします。多くの市民の方の参加を願っております。

専用ホームページを開設します！

いしかり市民カレッジの web 発信は、これまで石狩市 HP の中で行ってきましたが、カレッジの記事にたどりつくまでに、段階を踏む必要があり、形式的な制限もあるため、独自の見やすい HP を開設することにしました。現在 6 月中には開設できるよう準備中です。開設すれば、カレッジの情報をよりタイムリーに、きめ細かくお伝えできると思いますので、ご期待ください！（写真はその HP のトップページレイアウトです）

いしかり市民カレッジ HP のアドレスは
<http://www.ishikari-c-college.com>
です。



市民カレッジデータ

（5 月 24 日現在）

登録者 ~ 164 人

協力団体 ~ 69 団体



ロゴ制作者・丸山英里子さん

市民カレッジ2年目の講座始まる

市民にとって魅力ある講座を実現したいと、昨年度から検討を重ねてきました。2年目の初めの講座は、「お茶の間目線の経済談義」と決まりました。市民カレッジの前身「いしかり学のススめ」時代からも「経済問題関係」は、講師に適任者が見つからずやりたくてもできなかった講座でした。経済の現場の最前線で活動してこられた辻正一さんを講師として迎えることができたことは市民カレッジにとっても貴重な財産になるものです。



4月24日に行われた1回目は、いろんな講座によく参加される常連さん(?)から新たに市民カレッジに入会された方や当日申込者も多数いてスタッフ一同うれしい誤算のなか受付をしました。講座の内容は“「経済」を観る”ということで世界の経済の動きを概観するものでした。リーマンショック、バブル、中国経済など身近に聞く言葉をさまざまな例を挙げての解説は、難しい面もありましたが新鮮な勉強でもありました。

2回目のテーマは“「金融」を覧る”でしたが、最初に前回受講者から出されていた質問に丁寧に答えることから始まりました。辻さんは「今日はだれも来てくれないのではないかと思ったら、こんな来てくれて少しハイになっています」などと冗談を交えながらお話しをされました。内容は、金融行政の歴史や新しい金融の世界、身近な金利や年金の話など元銀行マンだけに明快にわかりやすくお話ししていただきました。アンケートでも「前よりよくわかる」「脱線した話がおもしろい」など楽しく聞けたようです。

3回目の“「事業」を診る”では、話題になった企業を例にしてのお話しを、4回目は、自分たちの地域を考える内容へとつながっていきます。経済の話がこれからどのように発展していくのか興味が尽きません。

「経済」の語源は、「世の中を治め、国民を救うこと。経世済民」からきているそうです。今回の4回の講座を受講すると、世の中の動きを今までとは少し違った目線で見えていけるような気がします。学ぶことは、自分を少し変えることかもしれません。「お茶の間目線」の視野も少し広がればよいと期待しています。

今年度の市民カレッジ、まだまだたくさんの講座があります。まだまだ学べます。

修了証受証者50人越す

「いしかり市民カレッジ」第2回修了証授与式が3月25日石狩市役所にておこなわれ、修了証はいつもの様に学長でもある田岡市長から一人ひとりに手渡されました。19年6月から生涯学習のための「石狩・学びのスタンプ」をスタートして以来通算5回目の授与式で、早くも修了証受証者が50人を越えました。





いんたびゅう

『ふまねっと』って？

大きなマス目の網を床に敷き、その網を踏まないようにゆっくり歩く・・・ルールはそれだけ！

5年前に北海道教育大学釧路校の先生が考案されたそうです。この「ふまねっと運動」の体験教室が4月22日にりんくるで開催されました（参加者11人 うち男性2人）。

柔軟体操（ストレッチ）を15分の後、床に敷かれた網の上をルールにしたがって歩きます。パリエーションが100以上もある中、この日は5パターンを体験しました。

ポイントはゆっくり歩くこと。頭では理解できても身体が思うように動かずに悪戦苦闘する場面もあって、笑いながらなごやかに進行。1時間半の体験の後は、うっすらと汗ばみ、頭もスッキリして、始まる前の不安げな表情だった皆さんがすっかり打ち解け、輝くような笑顔にかわり、一つの輪になっていました。

指導の先生は「みんなでワイワイ仲良くコミュニケーションをとれるのが一番です。」とおっしゃっていました。参加者の多くから「またやってみたい。」という声があり、今後に期待した講座でした。



連絡先 ふまねっと はまなす

永山さん 0133-74-7160

カレッジ生6声

励みになる「いしかり市民カレッジ」

花川北 合田 市造 さん

私は石狩に昭和53年から居住しております。会社勤めの時は仕事中心の生活で自分の住む石狩について知ることはあまり多くはありませんでした。64歳を過ぎた頃、「はまなす学園」に参加し、地域の人々と触れあい、石狩の色々な事を少しずつではありますが学びました。これは、私の永年の趣味であるアマチュア無線で全国各地の同じ愛好家との交信のとき石狩市を紹介するために好都合でした。平成19年度より、「スタンプ制度」が発足しましたので、学びの記録が残り、30スタンプ毎に石狩市長様より、直々に修了証とお祝いの言葉を頂けることは、大変励みになっております。今後とも、いしかり市民カレッジに参加し、石狩について多くのことを知りたいと思っております。

編集後記

本年度も「あい風通信」は年4回の発行を予定しています。市民カレッジの活動が広く市民の皆さんに理解され参加していただけるよう情報発信の役割を果たしてまいります。市民カレッジ2年目、主催講座の多くが道民カレッジ連携講座に指定されるなど内容も充実しています。乞うご期待。「まちの先生」募集中。埋もれている人材・特技を自薦他薦ご応募ください。本誌や講座に対する会員の声を参考に、更に充実を図ってまいります。どしどしご意見・ご感想をお寄せください。(S.S)

掲示板

【いしかり市民カレッジ更新のお願い】

皆さんご存知のようにカレッジ生にはさまざまな優遇措置がとられております。未更新のままだと一般扱いになり主催講座の受講料が500円となりますし、主催講座の受講者が定員を超えた場合は優先されません。さらに今後はカレッジ情報誌「あい風通信」が送付されなくなります。十分検討の上皆様には市民カレッジ継続の更新をお願い致します。

なお、更新手続きは講座受講時の受付または公民館窓口で受け付けております。

発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：中川進、石井滋朗、粕谷保雄、鈴木茂、福本好宏

お問合せ

石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL：0133-74-2249 FAX：0133-74-2249

E-mail：kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp